



🏠 > 地域情報 > 早期解決向け1千頭を目標に 猫119頭に不妊去勢手術、12月に第2回予定 どうぶつ基金

## 地域情報

## 早期解決向け1千頭を目標に 猫119頭に不妊去勢手術、12月に第2回予定 どうぶつ基金

2024/10/5 | 地域情報



篠原市長を表敬した佐上理事長(左)ら

犬や猫の殺処分ゼロの実現を目指す公益財団法人どうぶつ基金（兵庫県芦屋市、佐上邦久理事長）は9月26～29日、本市で野良猫や多頭飼育の状態にある猫119頭に無料去勢不妊手術を施した。手術会場の芦辺町芦辺浦の「旧しんぎょれん」の建物には、事前に申し込まれた猫が持ち込まれ、建物横で同基金から派遣された獣医師がスベーカー内で次々と手術。猫にはワクチンとノミ駆除薬も投与され、手術後は元の場所に戻された。手術は彦岐市からの申請を受けて実施され、27日には佐上理事長が篠原一生市長を表敬訪問。佐上理事長は「問題を解決するには、飼い猫も含めて全頭不妊手術をしないと、結局は元の木阿弥（もとのもくあみ）」と強調し、「継続して獣医を送る準備がある。市も市民もボランティアの方も一体となって進めていただきたい。1千頭くらいを目標に（手術を）やっていきたい」と述べ、野良猫の問題解決に向け、彦岐市側の体制を求めた。